**小学生(低)礼拝9月①**

**出エジプトと神の奇跡（出エジプト②）**

今日のお話は「出エジプトと神の奇跡」です。

前回は、エジプトの地で奴隷のような生活をしていたイスラエル民族を神様とモーセが共に救い出した、というお話をしました。今回はその続きになります。モーセは、なんとかエジプトの王様のパロの許しをえて、イスラエル民族と共にエジプトの地を出発し、カナンの地へと向かうことになりました。

当時、エジプトにイスラエル民族は、大人になった男性が60万人、全部合わせて200万人ほどいました。200万人はとっても多い人数です。日本でいえば、群馬県とか栃木県が200万人になります。こんなに多くの人数が移動するのはとても大変です。モーセは神様にお祈りをして知恵をもらいながらイスラエル人を導いていきました。

モーセとイスラエル人はカナンの地に向かいます。カナンへの道は二つありました。一つ目は海の近くを通るペリシテ人の道です。この道はカナンへの近道で、３週間ほどでカナンに着くことができます。二つ目は道がでこぼこしていて、とても歩きづらい荒野で長い時間がかかります。神様はモーセに荒野の道を行きなさいと言われました。近道で行けば、カナンの地へは早く行くことが出来ますが、とても強いペリシテ人がいます。もし、近道で行けば、イスラエル民族の人々の中で、ペリシテ人と戦うのを恐れてエジプトに帰るという人がいるかもしれないからです。

さて、その頃、エジプトではパロ王がイスラエル民族をエジプトから出してしまったことを後悔していました。そして、イスラエル民族を連れ戻すために、軍隊を作り、追いかけ始めたのです！

モーセとイスラエル人は紅海の前まで来ました。しかし、後ろからはエジプトの軍隊が追いかけてきています。目の前は海なのでどうすることもできません。イスラエル民族の人々はモーセに「モーセを信じてきたのにどうしてこんなことになるんだ！」と文句を言いました。絶体絶命のピンチです。モーセは神様にお祈りをしました。すると神様はモーセに知恵と力を与えました！

神様から知恵をもらったモーセは人々に言いました。

「恐れてはならない」

そして、自分の持っていた杖を海のまえにさしのべました。するとどうでしょう！東から強い風が吹いて海が右と左に二つに分かれたのです。

そして、モーセとイスラエル民族は乾いた地を通って逃げることができました。神様の力があったのでこのような奇跡を起こすことができたのです。しかし、エジプトの軍隊も乾いた道を通って追いかけてきました。

 　そこで、モーセはもう一度持っていた杖を海の前にさしのべました。すると海の水が一気にもどり、エジプトの軍隊は海に飲まれてしまいました。

　エジプトの軍隊から逃れることができたイスラエル民族は、そのまま、カナンを目指して歩き続けました。一日中歩き続けるのもとても大変です。イスラエルの民たちは、口々に「お腹がすいた！」と文句を言い始めました。

　そこで神様は、おなかをすかせたイスラエル民族に、「マナ」という食べ物をお与えになりました。「マナ」はみつの入った菓子パンのような味がする食べ物です。神様は、このように、イスラエル民族がカナンにいくことができるように、常に見守っておられました。

　そうして、イスラエルの人々は、シナイの荒野に着きました。すると神様はモーセに、「シナイ山に登りなさい」と言われました。モーセは、シナイ山に登り、40日間、イスラエルの人々の為に命がけで祈り続けました。

そのモーセの切なる祈りは神様に届きました。そして、神様は、モーセに10の約束を、石に刻んで、渡しました。これを「十戒」といいます。

「10戒」には、

・神様を心から愛することとか

・うそをつかないこと、

・友達に暴力を振るわないこと、

・お父さんお母さんを大切にすること、

・人の物を盗まないこと、

など、大切なことが書いてあります。モーセとイスラエル民族はこの神様の約束を大切にしました。さて、モーセとイスラエル民族が、カナンの地にたどり着くまでは、もうすこし、長いお話しがあります。

でも、いったんモーセのお話はここまでです。モーセとイスラエル民族が、苦労の中でも長い旅を続けてこられたのは、神様が導いてくださったからです。

その神様は、もちろんみんなのことを愛しています。そのような神様に感謝をしながら生活をしましょう！